

神港学園報

2016
February
第74号



第68回生
卒業おめでとう

Contents

逃げない P1 理事長 植村 武雄	ご卒業おめでとうございます P3 生徒会 会長 小野 陸
人生は冒険だ P1 校長 増尾 禮二	育友会の主な活動 P4
人間万事塞翁が馬(思うは、招く) P2 育友会 会長 石田 源之	本年度の進路状況について P5
「夢」～卒業生に贈る言葉～ P2 金星会 会長 加藤 均	平成27年度 進路状況 P6
新たな旅立ち P3 第3学年主任 棚瀬 智之	各賞の受賞者(卒業生) P7~8
	活躍する各クラブ P9~10
	税の作文「税でつくる輪」 P11 1年6組 森田 夏寿季



発行人 学校法人 神港学園

〒650-0003 神戸市中央区山本通4丁目19番20号 TEL.(078)241-3135 FAX.(078)232-1570
<http://www.shinko.ed.jp> E-mail. info@shinko.ed.jp

逃げない

◀◀ Message



理事長

植村 武雄

第68回生の諸君、ご卒業おめでとう。

保護者の皆さま、おめでとうございます。理事会を代表して、心からのお祝いを申し上げます。

卒業生の諸君には、これからの人生それぞれに、本学園とともに学び、語り合い、行動する中で身に付けられた「進取/チャレンジ精神」と「練磨/強固な意志と実践力」そして「礼節/人間関係の礎」を忘れず、さらに磨き上げてほしいと願って止みません。いよいよ、本格的な人生への旅立ちです。これまでの「教わる」から「調べて学ぶ」へ、そして他者に「教える」立場へと人間としての生長の階段を一步一步踏みしめながら登ってほしいと思います。皆さんは、これから大人として、自ら考え、自ら行動し、自身のかけがえのない人生を切り開いていかれるわけです。

さて、本年7月に予定される参議院議員選挙から満18才以上の若者に投票権が与えられます。皆さんには、未来を創り、担う若者らしく、積極的に政治に向き合ってほしいものです。仲間と語り合い刺激し合う中で、より一層強固な自分づくりに励んで下さい。

卒業生の諸君は、人生の新ステップでまずは自身の研鑽に集中していただきたい。そして社会事象に関心をもち、コミュニティ活動にも貴重な時間を精一杯割いてほしいと思います。いずれにせよ、高校生活から巣立っていく諸君には、弱気になるな、信じることをブレずにやり抜け、そんな激励を申し上げたいと思います。

そこで、私は諸君に「逃げない」という言葉を贈りたいと思います。皆さんは今まで、教わる、指導を受けるといったいわば受身中心で過ごしてこれたと思います。しかしこれからは、自ら学び考え、行動するという主体性が求められます。

教わっていないからわかりませんという言い訳はこれからは通用しません。単に逃げていると思われるだけです。わからなければ、自らよく調べ考えること、そして、積極的に他者の意見に耳を傾けることです。諸先輩や家族、そして何よりも本学園で友情を育んだ友人達の考えを聴いて判断することです。私が「逃げない」というのは、こういう意味です。また、大きな困難、嵐に直面したとき、岩陰に身をひそめて耐え忍ぶことも「逃げない」ということです。現実から目を逸らさない勇気が「逃げない」ということです。

私は、皆さんには、この「逃げない」という言葉をキーワードとして、強い人間になってほしい。人間力を身につけてほしい。自分のためだけでなく、世のため人のため、かけがえのない、存在感のある大人になって下さい。

人生は冒険だ

◀◀ Message



校長

増尾 禮二

卒業生のみなさん、そして保護者の皆様おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

人生は、よく山登りに例えられます。それらは、登頂する道中の苦しさ、それを克服し登頂したときの達成感や感動の素晴らしさについて、また準備が不十分だったことや状況判断ミスなどで遭難が発生すること、頂上を目前にしてでも撤退する勇気の偉大さ、さらにはチームワークとルール遵守の大切さなどが挙げられます。

皆さんは目指す頂きを目指して、この18年間小さな山や谷をいくつも越えてきました。

これから登ろうとする頂きが高ければ高いほど、前述のことが顕著に現れてきます。苦しさに打ち克つには、十分な体力と精神力、そして経験が必要です。その準備を怠ると人生の道に迷い遭難することになります。また長い人生の中では、時として目標や計画の変更を迫られ判断に苦しむことも考えられます。ここまでは自分自身の問題ですが、「チームワークとルール遵守」についての失敗は、周りの人を巻き込んで迷惑を掛け、自分の信頼さえ失うことになっていきます。

いままでは、親身に支援してくれる保護者や教師が皆さんの身近に存在しました。甘えが通用する部分がありました。しかし、生徒から学生へ、生徒から社会人へと身分が変わり、その上法律の改正によって、選挙権が与えられたことだけでなく、一人前の大人として扱われることが多くなってきます。自由の幅は大きく広がってきますが、その反面自己責任も大きくなっていくことを十分に自覚してほしい。

これから先に起こるであろう障壁を想像し、目標設定を低くして簡単に登攀(とうはん)が可能な山を目指すことは退屈ではありませんか?人生は冒険だと思います。冒険とは「何らかの目的のために危険に満ちた体験の中に身をおくこと」と書かれています。何事においても安全安心を第一に行動することを心掛けるべきですが、これからの長い人生では、いくら慎重に望んでいっても、計画通りには進まないことはこの世の習いです。一度しかない人生です、思い切って大胆に大きな目標を設定し、挑戦してみましょう。登頂したときの達成感や幸福感は、計り知れないほど素晴らしいものになるでしょう。

これから登る人生の山々がいかにあろうと、多くのことを経験して、学び成長しながら目指す頂(いただき)に達してくれることを心より願っています。

終わりになりましたが、みなさん方の今後のご活躍と9年後の100周年には、学年の全員が揃ってお祝いに来校してくれることを祈念して、饒(はなむけ)の言葉とします。

人間万事塞翁が馬（思うは、招く）

◀◀ Message



育友会 会長
石田 源之

神港学園68回生の皆さんご卒業おめでとうございます。

また、三年間温かく見守ってくださいました保護者の皆様に心よりお祝い申し上げます。

三年間に渡る学園生活はいかがでしたでしょうか?楽しかったことや苦しかったこと、様々な思いを胸に秘め、今まさに羽ばたかんとする卒業生の皆さんは、伝統と歴史のある神港学園の卒業生として、また、校歌のとおり文武両道のもと、誇り高き神港健児として大変名誉のある年代の仲間たちです。偶然ではなくこの世代に生まれ育ったことを深く留めてください。それは、皆さんにとって大切な思い出であり財産となります。

これから皆さんは、人生の新しいステージに進みます。皆さんの中に眠っている可能性を大きく育てて開花させてください。そのために常に夢を持ち、その夢のために一生懸命努力してください。これから訪れるであろう、人との出会いや経験や体験を実感し、つらいことや悲しいことがあったとしても、神港学園で培った校風や仲間を思い出し、無理などと思わず、七転び八起きの精神で立ち向かい、自分に感動できるぐらいの大人に成長されることを願っています。

わたくしの好きなことわざに、「人間万事塞翁が馬」ということわざがあります。人生の幸、不幸は最後までわからないという意味です。思うは招く、幸せな人生を歩まれることを祈念いたします。今後は、未来に向かって確かな足どりで力強く歩んでください。皆さんの若い元気な力は、必ずや将来の日本を明るく活力溢れる社会にすると確信しています。皆さんの幅広い分野での活躍を心から期待しています

最後になりましたが、今日まで熱心にご指導いただいた校長先生をはじめ教職員の皆様、また、三年間、育友会活動にご理解、ご協力いただきました保護者の皆様に対しまして深く敬意を表しますとともに、心から厚く感謝申し上げます。

今後とも神港学園をご支援いただきますよう、よろしくお祈り申し上げます。

それでは、卒業生の皆さんのご健勝とご活躍をお祈りしております。

「夢」～卒業生に贈る言葉～

◀◀ Message



金星会(同窓会) 会長
加藤 均

卒業生諸君、ご卒業おめでとう。

皆様に贈る言葉「夢」について、少しお話をしたいと思います。

私は今年86歳になりますが、いつも「夢」を持って生きています。

私にとって「夢」とは、難しそうだけど、頑張れば実現出来そうな人生の目標です。

私が応援しているピアニストに西川悟平という方がいます。普通ピアニストを目指す場合、幼少期からピアノを始めます。しかし、彼は中学3年生からピアノを始めました。彼は人一倍努力をして音楽大学に入り、卒業後、著名なピアニストに才能を認められ、ニューヨークに招かれ、華々しいデビューをしました。ところが彼は、ピアノを弾こうとすると指が動かなくなるジストニアという難病にかかり、医師からは再起不能と告げられます。そんなとき、彼が私を訪ねてきました。彼はジストニアについていろいろ話をしてくれました。その時の事が、彼の自叙伝「7本指のピアニスト」に『ジストニアの症状について、加藤先生に説明しました。心が弱りきっている様子が伝わったので、加藤先生は「夢はあきらめたらアカンねん!」と活を入れて下さり、「一生勉強、一生青春」と書いたポストカードをくれました』と書かれています。その後、彼はまず動く左手2本と右手3本の指でピアノを弾きはじめ、現在

は7本の指で演奏をするまでになり、またピアニストとして活動しています。そんな彼を見ていて思う事は、どんな逆境に立たされても、「夢」を実現するために人一倍努力を重ね、あきらめる事なく、前向きに生きていく事の大切さです。

皆様もいつも「人生の目標」を持ち、前向きに物事をとらえ、相田みつを氏の言葉のように「一生勉強、一生青春」の精神で、いろいろな困難を乗り越えながら、くじけそうになってもあきらめる事なく「夢」を実現させて下さい。

最後になりましたが、ご卒業の日を迎えるまで生徒の支えになってこられた保護者の皆様と先生方に感謝すると共に、心からお祝いを申し上げます。

新たな旅立ち

◀◀ Message



第3学年 主任
棚瀬 智之

第68回生の諸君、卒業おめでとう。保護者の皆様におかれましては心よりお祝い申し上げます。心身共に成長して神港学園を卒業してゆく姿に、感慨もひとしおのことかと思えます。

君たちは、平成25年4月9日に神港学園神港高等学校において新たな門出を歩み出しました。あの日からはや3年の月日がたとうとしています。入学当初は、希望と不安から緊張した面持ちで学校生活を送っていたように思います。今では清閑な大人の顔になり自信に満ち溢れています。神港学園での学校生活が君たちにとって充実した時間であったか思い返してください。かけがえのない思い出や一生の友人をつくることができましたか。

大学進学という目標を掲げ、日々の授業から放課後の補習まで頑張った生徒。部活動に取り組み、厳しい練習を乗り越え、体だけでなく精神的にも成長した生徒も数多くいました。また、家計の負担を少しでも減らすため、アルバイトをすることで自分の学費を稼ぐ生徒もいるなど、306名それぞれの高校生活があったと思います。

2年生の修学旅行では、マレー文化村でのパティック染め体験や民族舞踊を鑑賞することで、異文化に深い関心と理解を持てたでしょうか。シンガポールでは、「ガーデン・シティ」とも呼ばれる美しく整備された国土で、マリナー・ベイ・サンズやユニバーサルスタジオ・シンガポールなどでたくさんの思い出を作ってくれたと思います。B&Sプログラムでは、シンガポール大学の学生と共にシンガポールの街を歩くことで、言葉の違いや食の違いに戸惑うこともあったでしょうが、異国の文化や風習を少しでも肌で感じる事ができたと思います。

3年生になり将来を真剣に考える進路選択の時期になりました。大学・専門学校・就職と将来を見据え、自分がどの分野に進むべきか思い悩んだことと思います。大学希望者で一般入試を受験する生徒で、自分が希望する大学目指して頑張っている生徒や、合格している大学があるにもかかわらず、さらにその上の大学目指して最後まで諦めず努力する生徒たちもいました。就職は景気が上向いたとは言いますが、いまだに厳しい状況でした。そうした中でも、生徒たちの頑張りや進路指導部や担任の先生方のサポートで、ほとんどの生徒が内定をもらうことができました。

高校生活は今日で終わりですが、4月からまた新たなスタートが始まります。これからは、各自が別々の道を歩み厳しい社会に身を置くことになると思います。そこで君たちは、これまで以上に様々な経験することでしょう。人生は楽しいことだけではありません。辛い日々があるからこそ楽しく感じる瞬間があるのだと思います。また、それは我々が成長するための大事な課程でもあるのです。人は苦難を乗り越えることで大きな人間になっていきます。どんな時も冷静に真実を見極め、自己を見失うことなく、周りの仲間や他人を気遣う優しさ、人々の苦しみに共感できる温かい心を持ってほしいと思います。

最後に、元ラグビー日本代表の平尾誠二さんの言葉に「今の時間を大事にできない人は、未来の時間もきっと大事にはできない。ここで自分らしく生きることができない人には、次なる道は開けない」という言葉があります。時間は無限ではありません。今を大切に出来ない人はその後も大切にできません。人生の選択はひとつではなく無限にあります。ひとつのことにこだわらず選択の幅を増やすことは人生を豊かに生きる助けになると思います。

ご卒業おめでとうございます

◀◀ Message



生徒会 会長
小野 陸

3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

今から3年前、先輩方は初めて神港学園の校舎に足を踏み入れたときの気持ちを覚えていらっしゃいますか。高校生活が始まるにあたり、大きな夢や希望を抱いて入学されてきた方、また、新たな環境になじめるか不安を抱えながら入学されてきた方など、様々であったと思います。

本校に入学されてからは、勉強や部活動に全力で打ち込まれてきたと思います。体育大会や、文化祭では率先して学校行事を盛り上げてくれました。高校生活を通して、たくさんの行事に参加し、その中で切磋琢磨する仲間を見つけ、時には競い合い、励まし合い、有意義な3年間を過ごされてきたことと思います。

私達は先輩方の姿勢からたくさんのことを学ばせていただきました。神港学園の伝統や、行事の楽しみ方など多くのことを先輩方から教わりました。私たちが楽しく高校生活を送ることができたのは先輩方のおかげです。ありがとうございました。これからは私達が先輩方から教わった伝統を後代に伝えていきたいと思っています。

先輩方は今、新たな門出を迎え、各々の夢に向けて歩み始めようとしています。新しい環境ではつらいことや困難なこともあるでしょう。そんなときは神港学園での日々を思い出してください。どんなにつらいときでも、諦めずに前

を向いて、困難に立ち向かってきた経験はきっと皆さんの自信に繋がるでしょう。

最後に、三年生の皆さん、今まで本当にありがとうございました。これからもそれぞれの夢に向かって頑張ってください。

育友会の主な活動

平成
27年度

育友会総会(5月16日)

平成26年度事業報告、決算報告
平成27年度事業計画案、予算案提出
新役員選出、学級委員承認

文化祭に向けての教養委員会(6月6日)

おふくろメニュー(焼肉丼)試食会、ポスター等作成作業

文化祭前日準備(6月19日)

調理器具準備・模擬店設営他

文化祭(6月20日)

おふくろ庵(焼肉丼・明石焼)、物品販売(ミニフラッグ、マフラータオル)

文化祭反省会(7月11日)

来年度に向けた教養委員との意見交換

体育大会参加(9月18日)

生徒へのドリンク配布他

親睦旅行(10月24日)

岡山/備前方面(倉敷美観地区散策・ぶどう狩り)

生徒指導合同懇談会(12月5日)

本校の生徒指導について
特別講演:生徒指導と家庭の役割
学年別意見交換

学級委員懇親会(12月5日)

学級委員との情報交換



進路決定に向けて

進路指導部より

平成27年度の卒業予定者は306名、そのうちおよそ7割の生徒諸君が既に進路を決めています。

大学進学では、例年の指定校やAO入試など、学科試験を課さない入試制度を利用する傾向に歯止めがかかり、学力をじっくりと向上させることで、「専願1学科」から「複数併願」に挑戦する生徒たちの数が徐々に増え始めています。一方で、就職活動の場合も見受けられますが、自分の志望分野に拘りを持ち、非常に厳しい限られた選択肢に何度も挑戦する例も目立っています。もちろん、適性が備わり実力が伴っていれば、第1志望合格の目標を達成することは可能ですが、自己分析をごまかしたり、具体的な弱点補強の学習習慣が定着していなかったり、単純な原因が解消できないまま時間だけが経過する生徒も少なくありません。

在校生の生徒諸君には、担任や教科担当の先生方と何度も面談を重ねて、客観的に「自分を知る」ことが、就職と進学のいずれにも必要です。自己分析が不十分な者が、ひとりで物事を決めようとすることは横暴です。

様々な養成校や企業で新しい道を歩み始める3年生は、この大きな節目を契機として「ほんの一步抜きん出る」「ひと味加える」ことを、各人が心掛けて下さい。仕事や学習面だけではなく、毎日の食事や服装、周囲の人々との会話など、一番身近で反復できる部分から、これまでとは違う感性を呼び起こして下さい。



平成27年度 進路状況 平成28年2月4日 現在

4年制大学合格者 210名

Table with 3 columns: 大学名, 学部名, 合格人数. Lists various universities and their departments with corresponding student counts.

Table with 3 columns: 大学名, 学部名, 合格人数. Lists various universities and their departments with corresponding student counts.

専門学校合格者 52名

Table with 3 columns: 専門学校名, 合格人数. Lists various vocational schools and their student counts.

短期大学合格者 16名

Table with 3 columns: 大学名, 学部名, 合格人数. Lists various short-term universities and their departments with corresponding student counts.

就職合格者 43名

Table with 3 columns: 企業名, 合格人数. Lists various companies and their student counts.

表彰を受ける者

各賞を受賞する者および代表者

卒業証書授与総代	6組	瀧元 一彰
卒業記念品目録贈呈者	8組	谷口帆乃香
日本私立中学高等学校総連合会賞受賞者	9組	鳥羽 悟瑠
兵庫県私立中学高等学校総連合会賞受賞者	5組	森 貴之
皆勤賞受賞代表者	4組	内海 拓也
精勤賞受賞代表者	2組	炭本 悠太
クラブ功労賞受賞代表者	1組	奥内 豊
金星会賞受賞者	3組	阿部一二三
育友会賞受賞者	1組	野瀬 渉
	5組	山田 太一
答辞	7組	下村 佳央

皆勤賞を受賞する者(46名)

- 1組 姫田聡太
 2組 秋山ひなた、三浦千誉
 3組 須賀啓介、高木 瞭、藤原 峻
 4組 幾田康友、内海拓也、岡野晟也、坂本晴貴、武田 陸、春山祐介、八釜拓夢
 5組 大西 樹、木村健太郎、瀬口 力、中奥雄大、山口聖太
 6組 稲垣蒼磨、宇佐美勇太、大岩航大、岡田健志、小野泰知、関東亨哉、杉山達紀、瀧元一彰、山本結莉子、渡邊航太
 7組 小林大樹、重信晴輝、下村佳央、西尾彰斗、吉賀大輝
 8組 石野秀和、加納由貴、兒玉 渉、坂口直史、田村颯基、松本健佑、松元誠槻
 9組 魚住健介、岡本颯真、巖 俊傑、圖子琳太郎、田中徳真、光山 遼

精勤賞を受賞する者(70名)

- 1組 生尾知輝、坂本佳希、中濱 豪
 2組 長永 基、炭本悠太、徳田成彦、前山大輝、山田拓海
 3組 新 聡一郎、今井晴海、藤井裕樹、梶田悠暉、溝端力也、武藤流星、森野晃介
 4組 泉 滉、奥野弦矢、前本 奏
 5組 岩佐祐輝、植浦寛太、上田蒼太、指出克久、長谷川浩太、林 純也、古川智也、松本大輝、山中善量、吉村大輔
 6組 上田勇真、小田島秀、甲斐勇希、剛 健太、斉藤 翼、瀬藤充成、富岡 主、面 徹太、西村政輝、三宅一輝、山本けいと
 7組 安藤篤志、石川登生、榎本太一、堺 健太、塩谷将広、瀬戸口優城、田野祥太、中尾公勇、原田昂典、肥田 潤、福井拓也、元秋光太、柳田振権
 8組 池田祐輝、岩城育海、岡田 健、岡本優太、角谷達也、篠原 慧、高田まどか、田代裕之、田中智英、中島大知、中島 陸、長濱智生、福井裕貴
 9組 竹並 嵩、鳥羽悟瑠、西野敦貴、野宮匠海、原田怜英

クラブ功労賞および功績

バレーボール部(14名)

- 第14回 全日本ビーチバレージュニア男子選手権大会
優勝
 6組 瀧元 一彰
 6組 関東 亨哉
 平成27年度近畿高等学校バレーボール優勝大会
ベスト16
 1組 鐘ヶ江郁弥
 2組 前山 大輝
 4組 岡野 晟也・武田 陸・春山 祐介
 5組 白井 優也・山口 聖太
 6組 瀬藤 充成
 7組 柳田 振権
 8組 鶴田 海人・福井 裕貴
 9組 圖子琳太郎

ゴルフ部(1名)

- 平成27年度全国高等学校ゴルフ選手権大会
個人・団体出場
 6組 大野 蓮

柔道部(7名)

- 平成26年度 講道館杯全日本柔道体重別選手権
66kg級 優勝
 柔道グランドスラム東京2014
66kg級 優勝
 3組 阿部一二三
 第56回近畿高等学校柔道新人大会
団体戦 5位
 2組 中川 雄貴
 2組 大西 優太
 第37回全国高等学校柔道選手権大会
73kg出場
 3組 左海 清之
 第56回近畿高等学校柔道新人大会
73kg級 3位
 5組 橋本 涼真
 平成27年度全国高等学校総合体育大会柔道競技
60kg級 ベスト16
 5組 橋 夏樹
 第56回近畿高等学校柔道新人大会
78kg超級 出場
 6組 安部 沙理奈

軟式野球部(3名)

第69回国民体育大会長崎 高校軟式野球の部
第2位

- 4組 杉内 佑真
- 5組 中奥 雄大
- 7組 山田 正太

美術部(1名)

第54回兵庫県私学総連合美術展 奨励賞
6組 宗像 正也

空手道部(7名)

第34回近畿高等学校空手道大会
男子団体組手 出場

- 1組 奥内 豊
- 4組 飯塚 宏紀
- 5組 植浦 寛太・上田 蒼太・昌川 拓哉
- 6組 面 徹太

第34回近畿高等学校空手道大会
男子個人組手 出場
5組 高 鵬

平成27年度 マラソン大会順位

第1学年

- 1位 北川 一樹(1組)
- 2位 小川慎ノ介(1組)
- 3位 村井 一登(5組)
- 4位 山口 恭汰(2組)
- 5位 倉光 壮郎(2組)
- 6位 大山 祥希(3組)
- 7位 中村 大樹(7組)
- 8位 中野 雄登(6組)
- 9位 今井 孝紀(1組)
- 10位 院瀬見直也(5組)

第2学年

- 1位 村上 州(3組)
- 2位 木畑 和弥(7組)
- 3位 福田 拓海(4組)
- 4位 馬場 健太(3組)
- 5位 田畑 友大(2組)
- 6位 森 仁寿(2組)
- 7位 岡 輝翼(2組)
- 8位 中尾 祐貴(7組)
- 9位 多賀 聖人(4組)
- 10位 池田 勇輝(7組)

**女子の部
第1学年**

- 1位 富永 夢希(7組)
- 2位 森 野々香(6組)
- 3位 石野 咲京(7組)

**女子の部
第2学年**

- 1位 河合 早紀(6組)
- 2位 池田 萌美(7組)
- 3位 吉田あきら(6組)

平成27年度 第2学年 クラス対抗駅伝

**優勝
5組**

- 糸瀬 翼
- ↓
- 赤本 悠斗
- ↓
- 臼井 亮矢
- ↓
- 升田 翔馬

**2位
2組**

- 吉田 悠真
- ↓
- 黒岩 勇樹
- ↓
- 日景 崇太
- ↓
- 三宅浩史郎

**3位
3組**

- 笠井 理揮
- ↓
- 河野 譲太
- ↓
- 田畑 瑠偉
- ↓
- 山本 陸空



活躍する各クラブ

硬式野球部

平成27年度春季兵庫県高等学校野球地区大会 1回戦敗退
 第97回全国高等学校野球選手権 兵庫大会 ベスト32
 平成27年度秋季兵庫県高等学校野球大会 第3位
 秋季近畿地区高等学校野球大会 出場

柔道部

平成27年度神戸市高等学校体重量別柔道大会 男子

60kg級 第2位 橘 夏樹
 60kg級 第3位 堀 竜大
 66kg級 優勝 阿部 一二三
 66kg級 第2位 左海 清之
 73kg級 優勝 小林 礼弥
 100kg級 第3位 中川 雄貴
 100kg超級 優勝 佐藤 貴成

平成27年度神戸市高等学校体重量別柔道大会 女子

48kg級 第3位 松本 弥優
 52kg級 第2位 堀井 彩香
 63kg級 第2位 上西 捺美

平成27年度全日本ジュニア柔道体重量別選手権大会

兵庫県大会 男子

100kg超級 優勝 佐藤 貴成
 73kg級 優勝 小林 礼弥
 66kg級 第3位 左海 清之
 60kg級 第3位 橘 夏樹

第59回兵庫県高等学校総合体育大会柔道競技

男子団体 第2位

学校別総合順位 男子 第5位

男子個人

60kg級 優勝 橘 夏樹
 66kg級 優勝 阿部 一二三
 66kg級 第2位 左海 清之
 100kg超級 第2位 佐藤 貴成

女子個人

78kg超級 第2位 安部 沙理奈

第69回兵庫県民大会 柔道競技 少年男子

73kg級 優勝 小林 礼弥
 60kg級 第2位 堀 竜大
 60kg級 第3位 橘 夏樹

無差別級 第2位 佐藤 貴成

第64回全国高等学校総合体育大会(インターハイ)柔道競技 男子

66kg級 優勝 阿部 一二三

平成27年度神戸市高等学校新人柔道大会

男子団体 第2位

100kg超級 優勝 佐藤 貴成
 73kg級 優勝 小林 礼弥
 60kg級 第2位 堀 竜大
 90kg級 第3位 岩野 光貴
 66kg級 第3位 渋谷 駿斗

女子団体 第2位

63kg級 第2位 上西 捺美
 57kg級 第3位 吉田 あきら
 52kg級 第3位 松本 弥優

第58回兵庫県私立中学校高等学校親善柔道大会

男子団体 高校の部 第2位

第64回兵庫県高等学校新人柔道大会高砂市長杯争奪

第64回兵庫県高等学校新人柔道大会

男子団体 優勝

100kg超級 優勝 佐藤 貴成

73kg級 優勝 小林 礼弥

60kg級 第2位 堀 竜大

100kg超級 第3位 山下 誠人

90kg級 第3位 岩野 光貴

女子団体 第9位

48kg級 第5位 池田 萌美

赤穂義士祭奉賛柔道大会一般団体

表門の部 優勝

第38回全国高等学校柔道選手権(個人試合)兵庫県予選男子個人

無差別級 優勝 佐藤 貴成

73kg級 第2位 小林 礼弥

60kg級 第2位 堀 竜大

マロニエ賞

阿部 一二三

軟式野球部

第60回全国高等学校軟式野球選手権兵庫大会 優勝

平成27年度秋季兵庫県高等学校軟式野球大会 準優勝

兵庫県高等学校優秀野球選手表彰

杉内 佑真

春季高校軟式野球ブロック大会 1位

春季兵庫県高校野球大会 ベスト4

バレーボール部

第59回兵庫県高等学校総合体育大会 兼平成27年度

全国総合体育大会バレーボール競技兵庫県予選大会 第5位

優秀選手賞 瀧元 一彰

第18回兵庫県ビーチバレーボール高等学校選手権大会

男子の部

優勝 瀧元 一彰・関東 亨哉

準優勝 藤本 直樹・原 宏之

第14回全日本ビーチバレージュニア男子選手権大会 優勝

瀧元 一彰・関東 亨哉

優秀選手賞 関東 亨哉

第68回全日本バレーボール高等学校選手権大会

兵庫県予選大会第5位

優秀選手賞 瀧元 一彰

マロニエ賞

兵庫県スポーツ優秀選手賞

瀧元 一彰・関東 亨哉

ゴルフ部

第59回兵庫県高等学校総合体育大会ゴルフ競技

男子団体戦 第3位

女子個人戦 第3位 大野 蓮

男子個人戦 第5位 前田 祥牙

平成27年度関西高等学校ゴルフ対抗戦

女子の部 第3位

全国高等学校ゴルフ選手権団体の部関西予選

高校女子 第3位

平成27年度全国高等学校ゴルフ選手権大会
女子団体出場
女子個人出場 大野 蓮・小川 うらら
平成27年度兵庫県高等学校ゴルフ選手権秋季大会高校女子
第3位 小川 うらら
第8回朝日新聞杯関西高等学校ゴルフマッチプレー選手権
女子の部 メダリスト 小川 うらら
2015年度(第21回)日本ジュニアゴルフ選手権競技
女子15歳～17歳の部出場 小川 うらら

陸上競技部

兵庫県高等学校総合体育大会
個人 男子 3000m 12位
個人 男子 5000m 16位
団体 男子 リレー100×4 出場
第68回兵庫県高等学校陸上競技対校選手権大会神戸地区予選会
男子3000mSC 第3位 松村 拓海
第53回神戸地区高等学校駅伝競走大会男子 第2位
第4区 第2位 26分51秒 村上 州
第6区 第2位 16分30秒 北川 一樹
第70回兵庫県高等学校駅伝競走大会男子 13位

空手道部

兵庫県高等学校総合体育大会
団体 形競技 3位
団体 組手競技 ベスト8
神戸市春季空手道大会 個人 形競技 3位
平成27年度第42回神戸市高等学校春季空手道大会男子個人形
第3位 阪井 達朗
平成27年度兵庫県高等学校空手道新人大会男子団体形競技 第3位
第30回兵庫県私学空手道大会高校男子
団体組手の部 第2位
個人形の部 第3位 阪井 達朗
個人組手の部 第3位 阪井 達朗
第35回近畿高等学校空手道大会
団体組手競技 ベスト16
団体形競技 出場
個人形競技 第5位 喜多 凌太郎
個人組手競技 出場 石井 将貴

剣道部

兵庫県高等学校総合体育大会 団体 男子 2回戦敗退
兵庫県高等学校総合体育大会 団体 女子 1回戦敗退
兵庫県高等学校総合体育大会
個人 女子ベスト16 富永 夢希
個人 第5位 野瀬 渉
平成27年神戸市内高等学校剣道大会
男子団体試合の部 第3位
平成27年度神戸市内高等学校新人剣道大会
男子団体試合の部 第2位
秋季高砂市民剣道大会高校一般
女子の部 第3位
第24回北近畿杯高校剣道交歓大会男子 第3位

テニス部

兵庫県高等学校総合体育大会 2回戦敗退
秋季神戸丹有地区5部リーグ戦 2位

サッカー部

兵庫県高等学校総合体育大会 1回戦敗退
兵庫県高等学校新人大会 神戸市予選 1回戦敗退

バスケットボール部

神戸市民体育大会 3回戦敗退(ベスト8)
兵庫県高等学校総合体育大会 3回戦敗退

ハンドボール部

第31回兵庫県民体育大会ハンドボール競技高等学校の部 第5位
神戸市秋期リーグ戦 2部1位 入れ替え戦後 1部昇格

卓球部

県民大会 卓球競技(神戸地区予選) 個人
ブロック優勝 富岡 主
兵庫県高等学校総合体育大会 団体 県大会出場

図書部

「人と未来防災センター」見学
「阪神高速道路技術センター震災資料保管庫」見学
神戸市立中央図書館「震災関連資料室」見学
第63回文化祭に参加
テーマ:
『後世に伝えたい震災の恐ろしさ～阪神・淡路大震災』
第36回読書会を開催 作品:『夏の花』原 民喜[著]
西宮市立北口図書館「書評合戦ビブリオバトル」観戦
「第1回兵庫私学フェスティバル」参加
「へろへろ(漫画同人誌)No33・モアイ(創作雑誌)No27合併号」
合評会開催
「塚塚市立手塚治虫記念館」見学
第1回「ビブリオトーク」開催
発行物
『僕たちの足どり』後世の伝えたい震災の恐ろしさ:阪神・淡路大震災一
『へろへろ(漫画同人誌)No33・モアイ(創作雑誌)No27合併号』
『図書館便り番外編』No76、No77、No78

美術部

第1回アートフェスティバル2015美術・造形の部
特選 宗像 正也 入選 石野 秀和

書道部

大東文化大学主催第57回全国書道展
金賞 石崎 清太郎・大西 凌
銀賞 三宮 寛市・住田 福松・田口 諒
田中 良甫・徳永 義樹
第62回日本学書展
準特選 徳永 義樹
入選 石崎 清太郎・大西 凌・三宮 寛市
住田 福松・田口 諒・田中 良甫
第39回兵庫県高等学校総合文化祭書道展
特選 石崎 清太郎

ブラスバンド部

STUDENT JAZZ フェスティバル2015 参加
神戸JAZZ 2015 参加

山岳部

4月/六甲山(東六甲)縦走 6月/六甲山(西山谷)登山
8月/北アルプス(槍ヶ岳)2泊3日登山 10月/六甲山(小野アルプス)登山

平成27年度「税に関する高校生の作文」入選者!!

税でつくる輪

1年6組

森田 夏寿季



浴衣を着て楽しそうに踊る近隣の人たちの輪。響き渡る笑いの声が帰ってきた。去年は天候の影響により開催されなかった。しかし今年の夏は恒例の夏祭りが開催された。今年の今頃は突然の雨により、大きな会場の店は急いでとり壊され、張ってあったテントは業者の車で税金を通して支援があると思っていた。税金のおかげで負傷者を出すことがなかったのは、その時の会場だけではない。子供たちの笑顔、近隣の人々と業者の連携、そしてこれからこの場所でつくられるかけがえのない思い出。僕は、税金から受けた恩恵について考えた。高校1年の僕は昨年義務教育が終了した。教育も税金によって賄われている。本棚に並んだたくさんの教科書、多くのことを教えていただいた授業、机、校舎、学校生活を支える全ての環境。一人の人間を育てるために、いったいどのくらいかかるだろう。小学校からの9年間、そしてこれからの3年間たくさんの人に支えられていることに改めて気が付いた。

消費税が8%になってからレジで支払う金額が予想より高く驚くことがたまにある。でもそのときは「僕が今まで受けた恩恵を、今度は他の誰かにお返しする番だ。」と思うようになった。この社会は支え合いで成り立っている。税金はそれを形にしたものだ。

税金を納め、社会に貢献できるのは社会人になってからだと思っていた。高校生である僕にできることは、家族が連携して消費税を納めることだけだ。しかし、税金について立ち止まって考えてみると、学生である僕たちにもできることがあることに気が付いた。それは、与えていただいた恩恵に感謝し、維持発展させることだ。例えば、地域の公園だ。きれいに張られた芝生からは雑草が伸びてきた。9月には住民による除草作業が計画されている。たくさんの方が納めた税金で元通りしていただいた公園だ。僕は部活の時間も考えながら参加しようと思う。次に、これまでに受けた教育だ。教育に税金を使うということは、今の世代の方々から未来の日本を託されていることと同じではないだろうか。日本の貴重な財源からいただいた税金だ。僕は一生懸命学習し、社会に役に立つ力を身につけたい。そしてよりよい社会の発展に貢献したいと思う。「私に出来ることは何か」と考えて行動すると、それは私も税金をめぐるとの支え合いの輪に入る第一歩になると思った。

税金はこの夏にあった色々な災害や夏より前にあった災害に遭われた方々の救助、生活再建にも使われている。どうか、この日本の制度が人々の幸せにつながって欲しいと心から願う。この制度を守ることは私たちの大切な使命なのだと思う。そして、税金によって助けられる命や、助けられる人がいるなら、その人々をたすけて、自分の住んでいる地域が良くなるなら、まだ元気で若い僕たちは、少し我慢するべきだと思う。税金はお互いを助け合うという「相互扶助」が大切だと思います。

